

作業療法で避けることができない対人関係の出来事

対人交流の出来事	定義	例
強い感情表現	文化的に規範を越えた強さでの感情の表出	カールは病棟のスタッフがコールに応えないと怒りを示した
親密な自己開示	個人的でデリケートなことの公開	カールは家族がなんと言おうと結婚しないことを主張した
力のジレンマ	クライアントと作業療法士間で起こった緊張や葛藤についての感情	カールは医療費を支払っているので作業療法後の片付けはしないと決めつけた
非言語的な手がかり	音声によらないコミュニケーション	カールは作業療法士をにらめつけた
危機のポイント	クライアントが作業療法に欠席したり、気が逸れたりするような予期せぬストレスとなる出来事	カールは歩行練習中に痙攣発作を起こした
抵抗と渋り	抵抗は治療的関係と結びついた作業療法への参加の拒否であり、渋りはそれとは関係なく嫌気を示すこと	カールは自分がしたくないことについては作業療法士の指示を無視した
限度を試す	定められた治療的関係以外の方法で作業療法士を妨害すること	カールは自分が治療する能力があるかを知る為に作業療法士の教育歴や職歴を尋ねたことで治療的関係は偏ったものとなった
共感の中断	作業療法士が気付かなかったことで、クライアントが落ち込んだり、感情的に傷ついたときに示す行動	改善するためには努力して作業療法に参加しなくてはならないと作業療法士に言われてカールは意気消沈した
感情的に負荷をかけられた作業療法の課題と状況 作業療法の限度	クライアントを当惑させる活動や状況 可能なサービス、時間、資源、作業療法士との関係についての制限	カールはすぐさま恥じた表情を浮かべて活動を中断した カールは退院後、訪問作業療法の担当になってくれるよう作業療法士に頼んだが、勤務上、できないと言われた
文脈の不一致	作業療法の経過中に変化するクライアントの対人環境や物理的環境	カールは転棟したが、受けることができるサービスは減少した

クライアントの対人交流の特性（永続的特性）

対人交流の特性	定義	例
コミュニケーション様式	発達と認知能力の段階に適したコミュニケーションの能力	アナは質問してもほとんど応えないのでOTは、彼女のニーズを理解できなかった
信頼する能力	OTが自分に関心を置き、身体的安心と感情の安寧を保証してくれるだろうと信頼する能力	アナは自分の考えや感情をOTに伝えようとしなかった
コントロールの要求	対人関係、また、作業療法中に行う決定において、積極的な役割をとる程度	アナは受け身的で、OTは彼女の価値に合わせて作業を選択することができなかった
ニーズを主張する能力	ニーズを表現するための取り組み	アナはスプリントが適したものでなかったにも関わらず、それを表明しようとはしなかった
変化と挑戦への反応	作業療法計画や環境の変化に挑戦しようとする能力	アナは初めての作業にとまどい、当惑したままであった
感情	作業療法中の会話的な感情の表現	アナは表情をかえることはないが、やや悲しげであった
フィードバックを与える傾向	OTへの自分の反応を肯定的、否定的に関わらず、適切に表現する能力	アナはOTが問いかけると何でも「大丈夫です」と答えた
フィードバックを受ける傾向	OTが自分の利点と弱点に関して述べた時に、見解を主張する能力	アナの対応のほとんどは機械的であった
人の多様性への反応	人口統計学的に、自分ちとは異なるOTへの対応の方法	アナは、男性PTIにはわずかながら感心を示した
関係を作ることへの志向性	治療的関係における対人交流の親密さの程度	アナはOTを含めて他者とは距離を置きたがった
接触することへの好み	身体的接触に対してみられる快・不快の表現	アナはOTが触れることにはたじろはなかったが、自分から接触しようとはしなかった
互恵のための能力	作業療法士をパートナーとみなして作業療法に十分に従事する能力	アナはOTに人としての関心を示さず、作業療法にも好意的とは見えなかった

治療的モード

モード	定義	例
擁護する	クライアントの権利の行使と能力の保障を確実にすること	カールが目的に向かって努力を続けることができるよう、どのように支持し励ますかを家族に相談した。
協業する	クライアントが作業療法に積極的に同等なパートナーとして参加することを期待すること	カール自身が理解している自分の医学的状态に関する知識に敬意を示した
共感する	クライアントの考え、感情、行動を理解しようと努めること	自暴自棄になっているカールの感情をまとめ、妥当なものとした。
励ます	クライアントに希望を注ぎ込む機会をとらえること	作業療法士が自分より、カールは上手に料理すると述べたことで彼は気を良くした。
指示する	注意深く指示して、作業療法の計画、手順、出来事をクライアントとともに明確にすること	療法士はエビデンスを示して情報を提供した。
解決する	現実的な考え方を進め、ジレンマを解決すること	カールがまとまらない質問をしたときに、自分はどう思うのかを作業療法士は尋ねた。

クライアントの特性に基づく最も適切な対人関係モード

さまざまな対人交流の特性への対応に最も成功する見込みのあるモードのガイドライン。

第5章クライアントを知る：対人特性の理解

表 クライアントの特性に基づく最も適切な治療的モード

対人交流の特性	擁護する	協業する	共感する	励ます	指示する	解決する
コミュニケーション様式	あらゆるコミュニケーションの困難	過度に話す	あらゆるコミュニケーションの困難	クライアントが謙な人には効果的かもしれない		
信頼する能力	他人を不信に思うがセラピストではない		非常に不信な、または不信心なセラピスト	他人を不信に思うがセラピストではない		
コントロールの要求		コントロールの必要性が高いから中程度	コントロールの必要性が高いから中程度		無関心または放棄制御	
セラピストに関する一般			相反する、不快な	親密度の高い必要性	公然と敵対的または高い接近の必要性	
変化と挑戦への反応			変化の苦勞 (恐ろしい、士気喪失、怒り)	恐ろしい又は士気喪失	恐ろしい	
フィードバックを受け取る傾向			却下、自己批判、怒り			
フィードバックを与える傾向			間接的または過度に重要なものを提供する	フィードバックを提供しない	フィードバックを提供しない	
感情			感情表出に困難さあり		感情表出に困難さあり	純い感情
社会的交流の好み		社会的交流の高いレベル	過度に差別的		分離的	分離的
ニーズを主張する能力			必要性のある主張の難しさ	必要性を主張しない	必要性を主張しない	
人の多様性への反応			人間の多様性に伴う困難			
構造/方向の好み	決してまたはほとんど試み	半構造化アプローチを好む	拒抗するか、最小限に耐える		高レベルの構造を好む	高レベルの構造を好む
援助を求め			援助の困難	あまりにも多くの援助を要請する	あまりにも多くの援助を要請する	
自律性の好み			自律性の問題		自律性の問題	
感情の強さ		感情的な強さを避ける	表現したり受け止めたりすることができる		感情的な強さを避ける	感情的な強さを避ける
タッチの設定						

モードが適用されないか、または所与の特性に対して特に最適でない場合、セルはブランクのままである。